

## 第4回 大阪フォーリン・ビジネス・ネットワーク・クラブ

1. 日 時 平成 22 年 2 月 4 日 ( 木 ) 15:00 ~ 17:00
2. 場 所 大阪市公館 ( 大阪市都島区網島 1 0 - 3 5 )
3. 出 席 者 関西の外資系企業のトップ、在阪の海外領事館・商工会議所のメンバー等約 30 人、大阪市長

### 4. 開催結果

#### ( 1 ) グループ別討論 ( Round Table Discussion )

今年度最後となる今回は、本年度これまで 3 回開催するなかでテーマとした「大阪の経済状況」「ベイエリアへの環境・新エネルギー産業の集積」「梅田地区開発」を振り返り、「大阪の今後の成長戦略」について参加者による意見交換を行った。

#### ( 2 ) 各グループ発表者による討論内容の報告

##### 【参加者発表概要】

##### \* 大阪の成長戦略について

- ・これからの産業に的をしぼる必要がある。

行政においても、市長、担当者が変わっていても、持続的な戦略実現可能なシステムを作っていただきたい。

##### \* 新しい産業の活性化について

- ・これから将来性のある産業は何かを見つけた上で、産業ごとのプロモーション組織を作ってはどうか。
- ・大阪の伝統的な産業 ( 医薬品、石油化学、繊維産業等 ) を再編し、活性化していくことが大切であり、一方で新しいバイオテクノロジーやロボット関連、再生可能な資源関係等の産業への取り組みをどんどんやっていかなければならない。
- ・将来に向けての重要な産業は、グリーンビジネス、ロボット産業である。日本、大阪にはそういった産業のバックボーンとなる高度な技術、すぐれた労働力、高度な研究開発能力もあるので、この二つの産業に力を入れて欲しい。特にロボット産業においては、これから高齢化社会になっていく日本の市場を考え、高齢者向けのロボット開発が非常に有益ではないか。
- ・大阪らしいイベント、特にコンピュータグラフィックや映像産業にかかわるようなコンペティションを作ってはどうか。その分野においては大阪が中心で、そのイベント開催期間中の一週間は世界が大阪に釘付けになるというようなイベント

をつくってはどうか。

\* 集客のしくみ

- ・企業と人を集めるために、インセンティブが非常に大切だ。さまざまなサポート、人的な支援が必要である。
- ・インフラ整備については、直行便の増便のための努力をしていただきたい。
- ・いろいろな外国語での案内板すなわち英語、その他の外国語での表示が増えれば、外国人にとって使いやすい街になる。
- ・しっかりしたアイデンティティが必要である。また、大阪は強いイメージをアピールすべきである。関西の一部として関西の他の自治体と連携をしっかりとっていくことで、関西全体としての強いイメージをアピールしていくことができるので、そのような連携も重要である。

\* 北ヤードのプロデュースに関して

- ・より多くの外資系企業、外国人にとって魅力的な地域にするために必要なのは、グリーンベルト（公園地帯）、オープンスペースである。それと同時に人々が楽しめる屋外のエンターテイメント施設が必要である。さらに交通機関に関しては、既存のものだけではなくライトレール等新しい交通システムも考えていく必要がある。

\* 世界の有能な人材を集めるために

- ・国際的なビジネススクールが必要である。  
授業料が無料であれば、世界から沢山人は来るとは思うが、インターンシップにおける様々なサポート体制（宿舎無料等学生向けの滞在場所のサービス）が大切である。

\* その他

- ・大企業のメインの部門が全て東京にある必要もなく、大阪にその子会社等に移してもらおう、団体を通じて働きかけるといった取り組みをしていくべきである。
- ・大阪は最近イルミネーションが盛んになっている。都市型産業ということで照明にかかわる振興ができるのではないか。

【市長コメント】

- ・大阪が世界に向けて、自分たちのプレゼンスをどう見せてゆくの、ようやく前向きに取り組もうとしている。
- ・北ヤード・そしてベイエリア、この二つの地域を抱えているこれだけ大きな都市は日本の中には東京を除いて今は無いと思っている。
- ・今後ベイエリアを新しい「ものづくりの拠点」としていく一方で、北ヤードを、新たに考え出している「知の拠点」として、世界中から素晴らしい頭脳が集まりやすい環境を作る義務があると思う。

- ・北ヤードの「ナレッジキャピタル」では、まずわが国の持っている最高の研究機関を集めたい。その研究機関と同時に、アジア太平洋研究所というものを作り上げていく企業の協力も求めて行きたい。
- ・素晴らしく広い、しかもアジアそして世界に繋がっているベイエリアに、工場に来ていただけるように、あるいはその研究機関の実働部隊に来ていただけるような誘致を、インセンティブを出しながら続けて行きたいと思っている。
- ・いかに快適に大阪というロケーションを楽しんでいただくために、京都や神戸、奈良といったところとの連携をとっていくというのが我々の課題であると認識している。
- ・一番説明しにくい魅力なのかもしれないが、魅力の中心は「大阪の人」にあると思う。また、ブランドにも関係するが、我々は単に「くだおれ」「食の都」「水の都」だけではなく、日本料理の原点が大阪にあるのだということを、もっと大きな声で言っていく必要がある。
- ・皆様が今日非常に熱心な議論をしていただいたということで、大変感謝している。いただいたご提案やチェックすべき点というものを、これから真摯に受け止めて、できることを早速やっていきたい。今後とも是非お力を貸していただきながら、大阪の魅力は是非多くの世界中の皆さんに発信していただきたいと思っている。そういう積み重ねの中から本当に大阪を愛してくれる世界の方が増えることを願っている。